

## 会議録

会議名	令和5年度 第1回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	令和5年7月24日(月) 10:00~11:40
開催場所	丸亀市役所別館5階第1会議室
出席者	<p>(出席委員)            山中雅大(会長)、村井花子、草薙めぐみ、角野幸治、馬場久美子、武林正樹、            嶋田悟、森本まり子、光岡浩昌、増田美樹、長尾圭祐、末永涼奈            (欠席委員)            高濱和則(副会長)、藤田侑加、谷本英城 (敬称略)</p>
議題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住自立圏構想の概要について</li> <li>・令和4年度事業実施状況及び令和5年度事業実施予定について</li> </ul>
傍聴者	0人
事務局	<p>(中心市)            丸亀市市長公室長 栗山佳子            丸亀市秘書政策課 課長 真鍋裕章、政策マネジメント室長 宇野大志郎、            主任 横井俊介            (関係市町)            善通寺市政策課 主事 高木博昭            多度津町政策観光課 政策企画係長 合田顕宏            まんのう町企画政策課 課長 鈴木正俊、課長補佐 黒川栄二</p>
発言者	議事の概要及び発言の要旨
真鍋課長	<p>ただ今から令和5年度第1回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。</p> <p>(栗山市長公室長より委嘱状交付)</p> <p>(栗山市長公室長より挨拶)</p> <p>&lt;委員自己紹介&gt;  &lt;圏域構成市町職員紹介&gt;  &lt;事務局職員紹介&gt;</p>
真鍋課長	会長の選任についてですが、定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱の第5条において、委員の互選により定めると規定されていますが、いかがいたしましょうか。
馬場委員	事務局の方でご意見はありますか。
真鍋課長	事務局といたしましては、他の審議会でもご活躍いただいております四国学院大学

	社会学部に所属されています山中委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。
	(委員より異議なし、会長は山中委員に決定、山中会長挨拶)
真鍋課長	続きまして、副会長の選任ですが、要綱の第5条に会長が指名すると規定されていますので、山中会長よりご指名をお願いします。
山中会長	本日は欠席されておりますが、私のほうで高濱委員に副会長就任の了承を頂いており、高濱委員を副会長に指名いたします。
	(委員より異議なし、副会長は高濱委員に決定)
真鍋課長	ここからの議事進行につきましては、要綱第6条の規定によりまして、山中会長にお願いします。
山中会長	それでは議事を進めさせていただきます。なお本日の会議ですが、委員総数15名中12名が出席していますので、要綱の規定により会議は有効に成立しております。 本日の議題は、(1) 定住自立圏構想の概要について、(2) 令和4年度事業実施状況及び令和5年度事業実施予定についてです。 まず、(1) 定住自立圏構想の概要について、事務局より説明をお願いします。
横井	(定住自立圏構想の概要について説明)
山中会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。 特にご意見がないようですので、次に移らせていただきます。(2) 令和4年度事業実施状況及び令和5年度事業実施予定について、事務局より説明をお願いします。
横井	(令和4年度事業実施状況及び令和5年度事業実施予定について説明)
山中会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。 私が質問させていただきますが、取組事項⑩ごみ・し尿処理施設の共同管理についての事業費が他の取組事項と比べて非常に高額ですが、瀬戸内中讃定住自立圏という枠組みは、現在住んでいる人が安心して暮らせるようなインフラ面に力を入れているのか、或いは定住者を呼び込むための施策に注力しているのか。もう一度説明いただいてもいいでしょうか。
宇野室長	先ほどの議事の「定住自立圏構想の概要について」の説明のなかでも触れましたが、ごみ処理施設のような高額な費用を要するものは、中讃広域行政事務組合という特別地方公共団体の方で予算を持って取り組んでおります。この中讃広域行政事務組合の

	取組も瀬戸内中讃地中自立圏共生ビジョンに位置付けておりますが、基本的には人口定住を図るためのソフト事業をメインに取り組んでおり、こちらの審議会では、中讃広域行政事務組合以外の取組にフォーカスしてご議論いただけたらと思います。
草薙委員	病児・病後児保育施設は、現在、丸亀市と善通寺市に1か所ずつ設置されています。資料3からも分かるとおり、少子化が進んでいますが、昔と違い今は共働きで生計を立てている家庭が多数を占めているという現状があります。その中で、病児保育はなくてはならないサービスになっているのですが、私は圏域で保育施設が2か所ということを妥当と考えていません。2市3町の行政の方から小児科医の先生方に支援いただきながら施設数を増やすよう取り組んでいただきたいです。また、研修・会議などはオンラインで実施することで、移動時間を節約して効率よく参加できるということをコロナ禍で学びました。発達障害児支援事業におけるセミナー等についても、対面とオンラインのハイブリッドで開催するような工夫をして受講者数を増やすよう検討をお願いします。
山中会長	⑦移住・交流促進事業について、徳島県神山町はオンライン環境を整備し、サテライトオフィスを誘致することで定住者を呼び込むような取組を行っていますが、圏域においてはそのような取組はないでしょうか。
宇野室長	サテライトオフィス誘致については、県の補助事業で、県内の空き家を活用して、移住と仕事をセットにした施策を行っており、圏域内でもいくつかの市町が取り組んでいます。今年度の圏域の取組としましては、移住・交流促進のための魅力ある発信ができないか検討し、多様な働き方に着目したワーケーション等のPR動画を作成することとしています。
山中会長	ワーケーションは観光しながら仕事ができるということなので、移住・定住からは遠いものではないでしょうか。
宇野室長	ワーケーション等の誘致は、関係人口の意味合いもあり、圏域に関わる方が増えることで将来的な移住も望めると考えております。
山中会長	関係人口で思い出したのですが、アニメや漫画、ゲームなどのコンテンツツーリズムにより関係人口が増え、定住者が増えるといった事例もあるようですが、圏域としての取組はあるのでしょうか。
横井	コンテンツツーリズムにつきましては、圏域としての取組事例はありませんが、観音寺市が舞台になったアニメがあり、関連作品の中で丸亀城等も登場していることから、丸亀市観光協会がPRに活用しております。
山中会長	作品の舞台になっていなくても、ワンピースの作者の出身地の熊本にキャラクター

	の銅像が立ったように、作者自身の出身地がいわゆる聖地となることもあります。野球漫画「ダイヤのA」の作者がまんのう町出身ということもあり、コンテンツを利用しながら、1つの市町だけに留まらず聖地巡礼ツアーのようなものができれば圏域内の交流にも繋がる可能性があります。
村井委員	授業で丸亀市本島の笠島地区の調査に行くことがあるのですが、笠島地区も空き家が多くあります。㉕文化芸術・スポーツ等を通じた交流の促進の令和5年度の取組内容で、定住自立圏域の小中学生を対象としたバスツアーとありますが、圏域の小中学生が保護者と一緒に島の文化財や芸術作品とともに地域の空き家を目にし、空き家活用のきっかけにも繋がるとてもいい機会だと思います。
武林委員	定住自立圏域の取組について、事業者の方、市町の住民への周知はどのように行われているのでしょうか。
宇野室長	定住自立圏の取組は、ホームページに取組状況・実績を進行管理表として掲載し、お知らせしているのが主となります。また、それぞれの取組の中で研修会などを開催する際は、各市町から募集をかけております。
山中会長	⑥大学等との交流・合同研究等の推進のうち、いわゆる産学官連携について、瀬戸内中讃定住自立圏という圏域から考えると、香川大学ではなく村井委員が所属している四国職業能力開発大学校や私の所属している四国学院大学ともっと連携するべきではないでしょうか。自治体との連携した取組が学校のPRに繋がり、ひいては定住に繋がるものだと考えておりますがいかがでしょうか。
宇野室長	圏域内の大学等と一緒に取り組むことが、学校や地域の魅力発信につながるというのは会長のおっしゃるとおりだと思います。香川大学・四国職業能力開発大学校・四国学院大学の3校と瀬戸内中讃定住自立圏が連携協定を結んでおり、本審議会のように学生の方に委員として参加、イベント時のボランティア協力などで連携しております。さらに踏み込んだ取組についても検討していく必要があると認識しております。
村井委員	四国職業能力開発大学校としては、昨年度は善通寺市と連携してイベントを実施し、丸亀市とは駅前のイルミネーションの飾りつけの協力をさせていただきました。交流を通じて学生は刺激を受けており、ありがたいと感じております。
武林委員	7月12日(水)に多度津町内の小学5年生が多度津高校造船課2年生と一緒にコンテナ船の出港式に参加しました。小中高生が地元の企業を見て、何か感動が残れば、将来地元で就職してくれるかもしれませんと想っています。事業者は地域の将来に繋がる取組に対して積極的に協力してくれるので、丁寧に依頼をすれば応援してくれます。

横井	⑦中小企業の活性化の取組の中に、地元企業PR事業というものがあるのですが、事業立ち上げの際に事業者の方に協力をお願いしたところ、武林委員がおっしゃったとおり、快く引き受けてくださいました。今後も事業者の方と協力しながら地元就職に繋がる活動を広げていきます。
角野委員	移住とかUターンの誘致については、仕事・家・住環境が大事だと思います。都会の人は田舎に仕事がないと思い込んでおり、仕事があることをPRして知ってもらうしかありません。家については、圏域内においても空き家等はたくさんありますが、善通寺市ではアーティストの方に空き家をアトリエとして活用いただく取組を実施しています。何も取り組んでいないところには人は来ないので、仕事・家・住環境の3つのテーマをワンストップで取り組んでいただきたいです。また、せっかくの機会なので、学生の方がどのように仕事を探しているかをお聞きしたいです。
長尾委員	善通寺第一高等学校デザイン学科に所属していたのですが、県内にはデザインに関する高校はあるのに、大学が無く、就職できる場所も地元に少ないことから、同級生はみんな県外に出てしまっています。幅広くいろいろな分野を学べる大学を誘致することで地元での就職を増やすようなアプローチができたらと思います。
山中会長	私はIターンで香川県に住んでいますが、県外に出た人の地元に帰りたいという欲求はとても強いと思います。急に人口が増えることはなかなかないので、どんな仕事があるかを見つけやすいプラットフォームがあれば県外に出た方も地元に帰りやすくなると思います。
横井	圏域ではありませんが、香川県が運営する就職・転職・インターンシップ支援のプラットフォームとして、「ワークサポートかがわ」がございます。
村井委員	就職活動中の学生を見ておりますと、ほとんどの学生が、ワークサポートかがわではなくマイナビ・リクナビを利用しています。デザイン性・使いやすさに要因があるのではないかと考えておりますので、ワークサポートかがわのホームページの充実に期待しています。
光岡委員	目指すべき点に人口増加があると思われますが、圏域内においても外国の方が増えてきています。圏域として、外国の方の移住について取り組んでいるのでしょうか。
横井	外国人向けの観光施策は取り組んでおりますが、圏域として外国人の方の定住の取組は現状実施しておりません。
光岡委員	外国人の移住についてはまだまだ議論すべきこともあると思いますが、近い将来、日本人だけでは国が成り立たなくなるのではないかと考えています。圏域においても、外国人の方にとっても住みやすいまちづくりというものも目指してもいいのでは

	ないかと考えています。
増田委員	公共交通について、コミュニティバスの普及が進まない理由の一つに、料金の問題があると考えています。圏域内でわかりやすく統一的な料金で公共交通が利用できればいいと思います。
真鍋課長	増田委員がおっしゃるとおり、コミュニティバスの料金が圏域内の各市町でも違うことにより接続がうまくいかず、連携が進んでいないというのが現状です。少しでも便利にお使いいただけるよう、問題意識を持って取組を進めてまいります。
山中会長	ほかにご意見等もないようですので、議事としては以上とさせていただきます。その他、事務局からございますか。
横井	(次年度の予定について説明)
山中会長	本日は議事進行にご協力いただきありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ご審議、お疲れ様でした。
	(会議終了)